

器 17 血液検査用器具
一般医療機器 検体前処理装置 JMDNコード 38757000
特定保守管理医療機器 **ティッシュ・テック グラス**

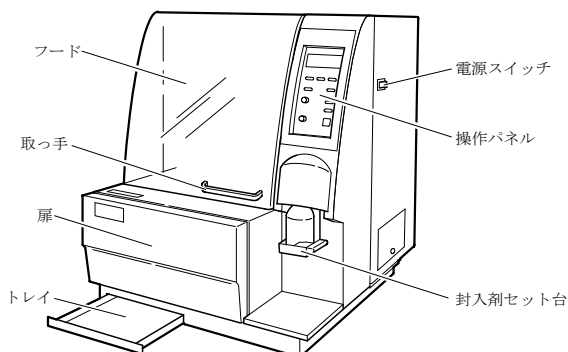
*EMC適合

【禁忌・禁止】

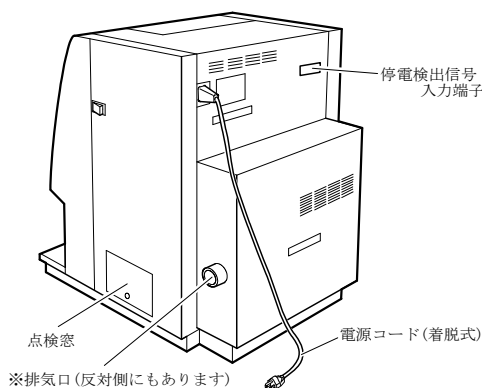
- ・トルエンは使用しない。
- ・装置の周囲で紫外線殺菌灯を使用しない。

【形状・構造及び原理等】

【各部の名称】



本体：正面側



本体：背面側

【作動・動作原理】

バスケット容器にセットされたスライドを、1枚ずつ吸着して取り出し、封入部に置く。封入部ではスライドを1ステップずつ横方向に移動しながら、スライド上への封入剤の吐出、カバーガラスの張り付けを順次行う。封入の終わったスライドは、スライドラックに収納される。これらの動作を連続して行う。

正常な運転状態から逸脱すると、画面表示とブザーにより使用者に報知する。

***【仕様等】**

共通 (SGC-400-D 6448, SGC-400-D 6449)
本体寸法：506(W)×634(D)×637(H) mm
本体質量：約69kg
処理能力：1時間当たりスライドガラス最大400枚(計算値)
使用スライドガラス：25～26.5(幅), 75～76.5(長さ), 0.9～1.2(厚さ) (mm)

電気的定格：

電圧：AC100V±10%
周波数：50/60Hz
消費電力：180VA

型式：SGC-400-D 6448 (カバーガラス幅24mm)

カバーガラス適用寸法：

24 (幅) × 40, 50, 55, 60 (長さ) (mm)
厚さは共通：0.12～0.17(厚さ) (mm)

型式：SGC-400-D 6449 (カバーガラス幅25mm)

カバーガラス適用寸法：

25 (幅) × 40, 50, 55, 60 (長さ) (mm)
厚さは共通：0.12～0.17(厚さ) (mm)

【設置環境】

- ・温度 10～40℃
- ・湿度 30～85%RH (結露なきこと)
- ・大気圧 80～106kPa

****【使用目的又は効果】**

本装置は病理学・解剖学や臨床病理学などで行われる組織学研究及び検査において、顕微鏡用スライドガラスの病理組織標本(切片)や細胞塗抹標本を顕微鏡用カバーガラスを用いて自動で行う検体前処理装置(封入装置)である。

【使用方法等】

【必要とする設備】

電源設備

容量：1.8A以上
接地端子：D種以上

排気設備

付属の排気ホース(内径38mm)が接続できる排気口(背圧がないこと)

【使用方法】

以下の手順の詳細は取扱操作説明書の第4章をご参照ください。

- ① 電源を入れる。
- ② 封入剤の量を確認する。
- ③ カバーガラスをセットする。
- ④ スライドラックを3個セットする。
- ⑤ 封入剤が吐出されることを確認する
- ⑥ バスケット容器に透徹剤を入れ、装置にセットする。
- ⑦ スライドを入れたバスケットを、バスケット容器にセットする。
- ⑧ [スタート] スイッチを押す。

運転が開始されます。すべてのスライドが封入されると、画面表示でお知らせします。

- ⑨ スライドラックとバスケット容器を取り出す。
- ⑩ 電源を切る。

取扱操作説明書を必ずご参照ください。

【使用上の注意】

詳細は取扱操作説明書の第1章、第2章をご参照ください。

[重要な基本的注意]

- ・装置の周囲に火気を近づけない。
- ・装置に有機溶媒をこぼさない。
- ・可動部に障害物を置かない。
- ・フードを開いて手を入れるときは、装置が止まっていることを確認する。
- ・装置の上には物を置かない。
- ・排気口をふさがない。

[その他の注意]

- ・フード開閉の際、すき間に手を挟まないように注意する。
- ・薬液は注意して取り扱う。
- ・装置の周辺は通風・換気を良くする。
- ・運転中以外はバスケット容器にフタをする。
- ・お手入れの際は電源を切る。
- ・電源プラグは接地端子付コンセントに接続する。
- ・動作異常時は電源を切る。
- ・排気設備を使用する。
- ・装置の定期点検を6カ月ごとに行う。
- ・消耗品は指定品を使用する。
- ・フードの開閉動作はゆっくり行う。
- ・封入テストを行い、運転条件を決定する。
- ・検体のスライドガラスへの張り付けは、カバーガラスの中央になるようにする。

【保管方法及び有効期間等】

** [耐用期間]

耐用期間：製造出荷後 8年[自己認証(当社データ)による]
条件：取扱操作説明書及び添付文書に記載された取扱注意事項あるいは保守・点検に係る事項を順守し、定期的に日常点検・保守点検を実施すること。
点検結果により、下記に示す主要な構成部品や保守点検事項に記載された交換部品を適切に交換すること。保守に用いる主要な構成部品は下表の通り。

主要な構成部品名	使用耐用年数
駆動部	8年
搬送部	3年
制御基板	5年
吸着用ポンプ	6年
分注ポンプ	3年
検出センサー	5年

※ここに記載した装置の耐用期間及び主要な構成部品の使用耐用年数は保証期間ではなく、上記の条件を満たした場合での平均的な年数となるため、使用環境、使用方法などにより異なります。

【保守・点検に係る事項】

[使用者による保守点検事項]

詳細は取扱操作説明書の第7章をご参照ください。

- ・ステーションと廃液容器
その日の作業が終了したら、各ステーションとその周辺を清掃し、廃液容器を洗浄する。
- ・乾燥防止ボトル
1週間に1回または中の溶剤が混濁したら、溶剤を交換する。

・ストレーナー

6ヶ月に1回以上、装置右側面の点検窓を取り外し、中のストレーナーを清掃する。

・スライドラック

封入剤が付着した場合など、スライドラックを洗浄する。

・バスケット容器

検体のクズなどがたまったとき、バスケット容器を清掃する。

・分注ポンプ乾燥防止容器

溶剤の量が減ったときは補充する。2ヶ月に1回以上、中の溶剤を交換する。

・スライドアーム用吸着パッド

傷ついたときや不具合が生じたときは新品と交換する。

[業者による保守点検事項]

・封入アーム用吸着パッド

不具合が生じたとき、または1年を目安に新品と交換する。

・真空ポンプ用ダイヤフラム

1年を目安に新品と交換する。

・真空ポンプ用リードバルブ

1年を目安に新品と交換する。

・各種シール部品

3年を目安に新品と交換する。

【製造販売業者及び製造業者等の氏名又は名称等】

製造販売業者

名 称：サクラ精機株式会社
電話番号：026-272-8381

製造業者

名 称：サクラ精機株式会社 長野本社工場

販売業者

名 称：サクラファインテックジャパン株式会社
住 所：東京都中央区日本橋本町3-1-9
電話番号：03-5643-2630（営業窓口）
機器の故障に関するお問合せ先：0120-392-874
(フリーダイヤル)